

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) マックスバリュ稲美店 新築工	階数	地上1F
建設地	兵庫県加古郡稲美町六分一字百丁	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	691 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 0.0	評価の実施日	2025年2月27日
敷地面積	10,562 m ²	作成者	(株)加藤建築事務所
建築面積	4,064 m ²	確認日	2025年2月28日
延床面積	3,772 m ²	確認者	(株)加藤建築事務所

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

100

3.0

1.5

BEE=1.0

50

0.5

0

0

50

100

環境品質 Q

環境負荷 L

1.1

46

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外の

④上記+

0

46

92

138

184

230

276

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

3 設計上の配慮事項		
総合	地域生活に貢献できるよう周辺地域に馴染んだ店舗設計。不特定多数の方が利用する施設であるため安全に配慮した設計を目指している。	その他 特になし
Q1 室内環境	居室の換気量は建築基準法等で定める必要換気量の2倍以上の能力を有する機器を選定している。また他に建築材料に含まれる化学汚染物質の低減や、敷地内を全面禁煙とするなど、良好な空気質環境の確保に努める。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の移動等円滑化誘導基準を満足する建物とする。店舗の天井高さを高くとり、ゆとりある計画となるよう努める。
LR1 エネルギー	①照明は全てLEDとし、売場基本照明は調光式を採用する ②後方はプルスイッチ付とし状況に応じて照明を間引く ③空調機器はエネルギー効率 (COP) の最大の機器を採用する	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の空地は可能な限り緑地帯とし、緑豊かな景観の形成を図るよう努める。
LR2 資源・マテリアル	各部門(青果、鮮魚、精肉、惣菜、ベーカリー等)がそれぞれ作業場を持ち水道使用量が多くなるため、節水に努める。	LR3 敷地外環境 屋外駐車場で外部照明を要するため、近隣建物への影響、及び省エネを考慮し、調光式器具を選定し、来客の支障とならない範囲で照度を制御する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1/1